

第 53 回 全国中学生テニス選手権大会（団体の部）岐阜県予選 大会開催要項（仮）

- 1 主催・主管 岐阜県中学校テニス連盟
- 2 後 援 岐阜県中学校体育連盟・岐阜新聞社、岐阜放送
- 3 大会役員 ディレクター兼レフェリー：中村 洋巳
競技役員：宗像 寿代・小森 孝二・川尻 成丈・渡辺 美由紀・萩生田 裕・佐藤 大夢
ロービングアンパイア：審判委員会から 3 名
- 4 期 日 4 月 2 5 日（土） 予備日：5 月 3 1 日（日） 郡上白鳥 6 面
- 5 会 場 男子：岐阜メモリアルセンター【ハードコート C 6 面】
〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28
- 6 参加資格 ①岐阜県中学校テニス連盟に加盟する学校に所属する者。
※未加盟校は加盟申請を行えば大会に参加可能。大会ディレクターの中村に連絡をすること。Email (hnakam24@mz.reitaku-u.ac.jp)
②監督および引率責任者は専任教諭または学校長から正式に委託を受けた者に限る。
- 7 参加費 10,000 円（大会当日受付時に納入）
- 8 申し込み 4 月 1 5 日（水） 1 2 時までに別紙参加申込用紙に必要事項を記入の上、大会ディレクターの中村 Email (hnakam24@mz.reitaku-u.ac.jp) にエントリーシートのファイルを添付送信すること。期限を過ぎた場合、エントリーは原則受け付けない。
- 9 ドロー会議 4 月 1 8 日（土） 1 4 時～聖マリア女学院中学校にて行う。
※ドローの発表は岐阜県テニス協会のホームページに公開する。
- 10 スケジュール 1) 選手は 8：00 集合
2) 監督会議は 8：15 から C コート付近の本部にて行う。
3) 8：30 になったら選手はコート設営をする。
4) 開会式は 8：40 から行う。
5) 9：00 になったら試合を開始する。
- 11 使用球 ヨネックス TOUR
- 12 競技方法 1) 2 ダブルス、3 シングルの 5 マッチを行う。
2) ダブルス№2 → ダブルス№1 → シングルス№3 → シングルス№2 → シングルス№1 の順で試合を行う。

- 3) チーム編成は1チーム10名以内（最低7名必要）とする。
ただし、同一選手がシングルス・ダブルスの両方に出場することはできない。
- 4) **試合形式はドロー会議を経て決定する。←ここだけドロー会議で議論する！！**
- 5) ノーレット方式を採用する。
- 6) 審判はセルフジャッジで行う。
- 7) **試合前の練習はサービス4本のみとする。**試合と同じ服装で行うこと。
- 8) 初回戦は5マッチ全てを行うが、次回戦からは勝敗が決定した時点で対戦を打ち切る。
ただし、天候等の都合で協議の上、変更もあり得る。
- 9) 本戦に加えて必要な順位決定戦を行う。
- 10) 試合中にロービングを呼ぶことができるのは、プレーヤー・監督・登録選手のみとする。
- 11) 対戦終了後、**勝者校の監督**が記録用紙とBOXを本部へ返却すること。
- 12) 勝者が試合ごとにスコアシートと試合球を速やかに本部へ提出すること。
- 13) 第1ゲームのエンドとサービスの選択をするトスは、ウォームアップ前に行う。
ラケットでトスを行う場合は、相手コートでラケットを回すこと。
- 14) フットフォールトは予告なく、コート外からロービングアンパイアがコールすること
がある。
- 15) ケガや体調不良等による棄権については、レフェリーの判断・確認を経て成立する。
棄権をした選手は、その日のそれ以降の試合には出場できない。

1.3 東海地区中学生テニス選手権大会への出場枠 男子：

東海大会の日程：8月5～8日 静岡県浜松市花川総合運動公園 ※詳細は「東海中学校テニス連盟のHP」

- ### 1.4 注意事項
- 1) ベンチコーチは、監督か登録選手で1コート1名以内とする。試合中は座っておくこと。
 - 2) ボールパーソンはシングルスのみ各校1名以内とする。
 - 3) ウェア等は、日本テニス協会ホームページの全国中学生テニス選手権大会のページにある「服装規定」に則り、監督の服装も選手に準ずる。
 - 4) 貴重品の管理は各校で行い、ゴミは責任を持って持ち帰ること。
 - 5) 応援について
 - ① 各試合前の練習中およびコートチェンジのインターバルでの声をそろえた応援を認める。ポイント間もプレーの妨げにならない程度の声援を認める。
 - ② 応援は該当コートの後ろまたはサイドから行うこと。隣のコートやコートを飛び越えて

の応援は不可とする。

6) 試合終了後は握手をして終わること。勝敗決定後は全員と握手をして終わること。

7) ビデオや写真の撮影は相手校の監督の許可を得ること。

撮影した映像・画像はSNS等に投稿はしないこと。

8) 筋ケイレンが起きた場合、選手はエンド交代時またはセットブレイクの時間内に限り、引率教員もしくは監督が処置を施すことができる。

9) タオルはフェンスにつり下げることが不可とする。ベンチまたはコートエンドのフェンス際の地面に置くこと。